

令和3年度の事務事業の評価結果一覧(こども未来局)

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|---------------|----------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 1 | 20101010 | 地域子育て支援事業 | その他 | 地域の中で、親子で遊べる場づくりを推進するとともに、互いに支え合う子育てで援助活動を促進するなど子育てに不安を感じる家庭への相談・支援体制づくりを進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センターで子育て情報の提供・相談支援等を実施(地域子育て支援センターの延べ利用人数 147,832人※目標 224,664人以上) ●ふれあい子育てサポート事業を実施(子育てヘルパー会員登録者数 737人※目標830人以上) ●「川崎市子ども・若者の未来応援プラン」に基づく取組及び年度評価を実施、「川崎市第2期子ども・若者の未来応援プラン」の策定 ●グローバル人材育成事業については、「Stanford e-Kawasaki」とともに、市内企業と連携し、令和3年11月から新たに小学5年生から中学生までを対象とした「かわさきジュニアベンチヤースクール」を開催 | 548,333 | 521,252 | 4 | P1 |
| 2 | 20101020 | 小児医療費助成事業 | 補助・助成金 | 小児医療に係る医療費の一部を助成することにより、その健全な育成を図り、小児保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者への医療費助成を適正に実施(123,321人) | 4,620,212 | 4,218,438 | 3 | P4 |
| 3 | 20101030 | 児童手当支給事業 | 補助・助成金 | 子どもを養育する家庭に、児童手当を支給することで子どもの健やかな成長と発達を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●対象者への児童手当を適正に支給(189,263人) ●児童手当受給者等に対し、子育て世帯への子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の子育て世帯分)(対象世帯数7,771世帯)及び子育て世帯への臨時特別給付金(対象世帯数:114,599世帯)を支給 | 22,546,966 | 39,499,395 | 3 | P6 |
| 4 | 20101040 | 児童福祉施設等の指導・監査 | 許認可等 | 施設の増加や多様な運営主体の参画が進む中でも、安定的かつ継続的な法人・施設運営などの質的確保に向け、適切な指導・監査を実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●児童福祉施設及び運営法人等に対する指導・監査を実施(553件) ●幼稚園型認定こども園・幼稚園における、子ども・子育て支援法上の指導監査を実施(5件) ●社会福祉法人設立認可及び定款変更認可業務を執行(6件) ●処遇改善の職員給与への反映に係る確認手法を構築し、確認指導を実施 ●人材育成を目的とした会計研修等を実施(5回) | 27,397 | 27,051 | 3 | P8 |
| 5 | 20102010 | 待機児童対策事業 | その他 | 共働き世帯の増加などによる保育所等の利用申請者数の増加や、待機児童解消への期待感などに伴い増え続ける保育需要に対応するため、待機児童対策を継続して推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●厚生労働省の定める「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき集計した、翌年度4月1日時点の待機児童数 0人 ●保留通知発送後の約2週間、平日夜間・土曜日に区役所に相談窓口を開設し、保育所入所相談等を実施(利用者:36人) ●令和3年4月1日時点で横浜保育室を利用する川崎市民:12人(目標29人) | 31,559 | 30,513 | 3 | P10 |
| 6 | 20102020 | 認可保育所整備事業 | 補助・助成金 | 高まる保育ニーズに適切に対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認可保育所等における保育受入枠の拡大を推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●令和4年4月の定員数確保に向け、認可保育所を整備(定員1,466人増※目標1,562人増) | 3,037,964 | 2,292,587 | 4 | P12 |
| 7 | 20102030 | 民間保育所運営事業 | 施設の管理・運営 | 待機児童の解消と多様な保育の推進を図るため、増設される民間保育所・地域型保育事業等の適正な運営の確保に向けた支援及び指導を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ●民間保育所の受入枠を確保(定員数:30,625人※目標30,850人) ●地域型保育事業の受入枠を確保(定員数:1,283人※目標1,340人) ●一時保育事業実施園数を確保(86か所※目標88か所) ●国の処遇改善等加算の適切な執行に向け、キャリアアップ研修を実施するなど、運営を支援 | 59,353,314 | 57,294,428 | 3 | P14 |
| 8 | 20102040 | 公立保育所運営事業 | 施設の管理・運営 | 市内の保育施設における保育の質の維持・向上に向け、民間保育所への支援機能を強化するとともに、在宅で子育てする家族への支援機能を充実します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●公立保育所の補修・修繕工事を適切に実施 ●藤崎保育園の建替について、地中障害物等の影響により、運営開始を令和4年度に延期 ●公民保育所職員研修を実施(参加者:6,838人) ●公立保育所における地域の子ども・子育て支援及び民間保育所等への支援を実施 ●WEB会議等を通じた公民の連携や専門実技研修等の人材育成研修を実施 ●保育・子育て総合支援センター及び公立保育所センター園において、医療的ケア児保育を実施(8名) ●会計年度任用職員の処遇改善を実施 | 1,075,883 | 1,036,304 | 3 | P16 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|---------------|----------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 9 | 20102050 | 認可外保育施設支援事業 | 施設の管理・運営 | 待機児童対策として、認可外保育施設等への支援を継続することにより、安定的な保育受入枠の確保を図るとともに、保育の質の向上を図りながら認可化及び小規模保育事業への移行を円滑に推進します。 | ●川崎認定保育園利用者への保育料補助を実施(助成児童数:3,671人) ●川崎認定保育園(12園)を認可保育所及び小規模保育事業に移行、児童受入を促進(受入児童数:2,469人※目標4,023人) ●病児・病後児保育事業を実施(7施設) ●保育士資格等を有しないベビーシッター等へ子育て支援員研修を2回実施(受講者:83人) | 5,356,659 | 4,378,422 | 3 | P18 |
| 10 | 20102060 | 幼児教育推進事業 | 補助・助成金 | 質の高い幼児教育の推進を図るとともに、認定こども園への移行促進や幼稚園における一時預かり事業を推進します。 | ●私学助成を受ける幼稚園在園者への補助を実施(支給人数:14,675人) ●幼稚園型一時預かり事業を実施(39園) ●幼稚園(4園)を認定こども園に移行 ●幼児教育相談員による巡回相談を実施(8園) ●新たに幼稚園類似施設在園者への補助を実施(支給人数:172人) | 8,919,931 | 8,426,795 | 3 | P20 |
| 11 | 20102070 | 保育士確保対策事業 | イベント等 | 保育受入れ枠の拡大に伴い、毎年多くの保育人材を必要としていることから、就職相談会や保育所見学・体験型事業の実施、保育士・保育所支援センターの運営、保育士養成施設との連携などにより、保育人材の確保・育成を推進します。 | ●保育士宿舎借り上げ支援事業を実施(補助対象者数:2,113人) ●保育士修学資金貸付等を実施(利用者70人※目標120人) ●就職相談会・セミナー等の実施(参加者3,095人) ●就職相談会等による求人事業者と求職者のマッチング(マッチング件数:2,408件※目標3,100人) | 1,244,259 | 1,195,661 | 3 | P22 |
| 12 | 20102080 | 保育料対策事業 | その他 | 保育料を滞納している世帯に対し、納付指導、督促を徹底するとともに、保育サービスの受益と負担の適正化に向けた取組を推進します。 | ●保育料滞納世帯に対し、電話による納付指導や長期滞納者には滞納処分を実施(収納率:99.13%※目標99.18%) | 50,777 | 64,436 | 3 | P24 |
| 13 | 20103010 | 妊婦・乳幼児健康診査事業 | 補助・助成金 | 妊娠出産を安全に迎えるため、母子の健康状態を確認するとともに、乳幼児の発育状況、疾病等の予防や早期発見など母と子の健康増進を図ります。 | ●妊婦健康診査費用の一部を助成(助成件数:150,451件※目標167,407件) ●特定不妊治療(体外受精、顕微授精)の治療費の一部を助成(助成件数:4,259件) ●乳幼児健康診査を実施(受診者:59,746人※目標64,900人) ●健診未受診者に対し、電話や訪問による受診勧奨を実施 ●医療機関と連携し、妊婦・乳幼児健康診査受診状況等から把握した要支援家庭を各種母子保健事業により支援 ●妊婦のウイルス検査費用を助成 | 1,914,600 | 2,451,655 | 3 | P26 |
| 14 | 20103020 | 母子保健指導・相談事業 | 補助・助成金 | 思春期から、妊娠・出産・乳幼児期までのライフサイクルの各時期に応じて、健全な母性の育成、子育て支援など親と子の健康づくりを進めます。 | ●新生児全戸訪問及びこんにちは赤ちゃん訪問を実施(実施率:94.0%) ●学校保健と連携し、健康教育を実施(参加者:3,421人※目標6,300人以上)。新型コロナウイルス感染症対策として音声・動画・広報媒体を活用 ●新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンライン実施回数を増やして両親学級を実施(参加者:4,486人※目標5,950人以上) ●宿泊型、訪問型に、助産所に通所する日帰り型も加えた、産後ケア事業を実施(利用者:2,124人) ●妊娠届出時に母子保健コーディネーターによる全数面談を実施 ●新生児のいる世帯を対象に川崎じもと応援券第2弾を贈る新生児応援事業を実施 | 269,736 | 591,126 | 3 | P28 |
| 15 | 20103030 | 青少年活動推進事業 | イベント等 | 地域社会全体で、子ども・若者を見守り支え、安全・安心な環境の中で青少年の健全な育成を図るため、青少年を育成・指導する青少年関係団体を支援するとともに、次代の担い手となる自立した成人を育成するため、積極的な社会参加を促進します。 | ●青少年団体の活動を支援 ●青少年の健全な育成環境推進協議会の書面開催のほか、広報啓発活動の実施、こども110番事業情報交換会を開催 ●成人の日を祝うつどい(協力運営ボランティア128人※目標150人)、青少年フェスティバル(協力運営ボランティア162人)について、感染症対策に配慮しながら実施 ●各区青少年指導員連絡協議会と連携し、青少年指導員活動への支援を実施 | 38,612 | 34,864 | 3 | P30 |
| 16 | 20103040 | こども文化センター運営事業 | 施設の管理・運営 | 子どもの多様な体験や活動を通じた児童の健全育成を推進するとともに、市民活動の拠点としての活用を図ります。 | ●基本的な感染防止対策を実施しつつ、学校、高齢者施設、地域団体等との連携による多世代交流をはじめとした地域交流を促進(利用人数1,113,947人※目標1,852,000人) ●外壁補修、屋上防水工事等、施設の計画的な維持・補修の実施 ●老人いこいの家との連携強化により、多世代交流の促進に向けた取組を実施 | 3,637,807 | 3,670,207 | 4 | P32 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|----------------|------------------|--|--|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 17 | 20103050 | わくわくプラザ事業 | 施設の 管理・運 営 | すべての小学生を対象に、学校や地域との連携を図りながら、放課後等に児童が安全・安心に過ごせる場づくりを進めます。 | ●新しい生活様式を踏まえた事業実施(わくわくプラザの登録率33.8%※目標49%) ●学校の長期休業日等の平日朝の開室時間を8時30分から8時に継続して変更 ●プラザ室の計画的な維持・補修 ●市立小学校114校で子育て支援・わくわくプラザ事業を実施 | 77,855 | 93,876 | 4 | P34 |
| 18 | 20103060 | 青少年教育施設の管理運営事業 | 施設の 管理・運 営 | 団体宿泊生活や野外活動を通じて心身ともに青少年の健全な育成を図るとともに、子どもの遊び、活動の促進に向けた場を提供します。 | ●ハケ岳少年自然の家で団体宿泊訓練等を実施(利用人数:77,142人※目標96,000人以上) ●黒川青少年野外活動センターで野外自然観察活動等を実施(利用人数:11,306人※目標31,000人以上) ●子ども夢パークで子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等を実施(利用人数:60,674人※目標92,000人以上) ●青少年の家で団体宿泊研修等を実施(利用人数:15,455人※目標34,000人以上) | 473,201 | 472,217 | 4 | P36 |
| 19 | 20104010 | 児童虐待防止対策事業 | その他 | 児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止に向けた子育て支援や専門的な支援の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら普及啓発や地域の支援体制づくりを進めます。 | ●各区要保護児童対策地域協議会(個別支援会議)を実施(681回) ●要保護児童対策協議会(連携調整部会)の運営手法の検討(令和4年度から見直し) ●児童虐待防止センターでの電話相談を実施(相談件数:1,849件) ●11月の児童虐待防止月間を中心に、児童虐待防止普及啓発活動を実施(23回) ●児童相談システムの運用及びカスタマイズにより、児童及び家庭に関する情報の一元的な管理による包括的な支援を実施 | 135,089 | 115,392 | 3 | P38 |
| 20 | 20104020 | 児童相談所運営事業 | その他 | 増加する児童虐待や複雑・困難化する児童家庭相談に対し、専門性を生かした相談援助を行うとともに、支援が必要な児童の一時保護、里親・施設入所措置等を行います。 | ●子ども及び家庭への相談・援助を実施 ●児童福祉司14名、児童心理司2名を増員し、児童相談所体制を充実 ●中部児童相談所の改築に向けた基本設計及び仮設相談所の整備、北部児童相談所の増築、こども家庭センターの改修に向けた設計を実施 | 609,973 | 519,364 | 3 | P40 |
| 21 | 20104030 | 里親制度推進事業 | その他 | 家庭での養育が困難な児童を家庭と同様の環境で養育するため、里親制度の普及啓発や里親登録数の増加、里親支援機関と連携した里親への養育支援等、里親制度の推進を図ります。 | ●区役所等へのチラシの配布、市政だよりへの掲載等による里親制度の普及・啓発活動を実施 ●全体説明会形式、オンライン形式、個別相談形式での養育・養子縁組里親説明会(合計82回)を実施 ●里親養育技術向上のための研修会を実施(3回) ●長期休暇を中心に、乳児院・児童養護施設、地域小規模児童養護施設でふさと里親事業を実施(登録数:90世帯) ●フォスタリング事業の継続のほか、ピアサポートによる里親相互間の支援体制を構築 | 91,988 | 86,460 | 3 | P42 |
| 22 | 20104040 | 児童養護施設等運営事業 | その他 | 児童養護施設等における要保護児童の処遇向上に向け、良好な家庭の環境での養育の推進を図ります。 | ●乳児院、児童養護施設等における施設の高機能化や多機能化を図るため、宿舍借上げ事業の創設や職員配置の拡充など処遇改善面を充実 ●本市社会的養育推進計画に基づき、地域小規模児童養護施設及び自立援助ホームを整備 ●子ども・若者応援基金を活用した学習・進学支援事業を実施 | 3,641,946 | 3,820,200 | 3 | P44 |

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の 達成度 | 参考資料 掲載頁 |
|----|----------|---------------------|------------|---|---|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | |
| 23 | 20104050 | ひとり親家庭の生活 支援事業 | 補助・助 成金 | ひとり親家庭の自立の促進に向け て、生活や就業等に関する相談支援 を行うとともに、経済的支援をはじめ とする各種支援の取組を進めます。 | ●児童扶養手当を適正に支給(対象者:5,729 世帯) ●ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成 (対象家庭:12,034人) ●母子・父子福祉センターで、生活・就業相談 及び支援を実施(自立支援プログラム策定件 数:45件※目標90件以上) ●自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促 進給付金を適正に支給(高等職業訓練促進給 付金新規認定:14件※目標25件以上) ●ひとり親家庭の家事・育児等を支援(支援員 派遣:延べ310名) ●ひとり親家庭の子どもへの学習等を支援(17 か所) ●母子生活支援施設を運営 ●「川崎市ひとり親に関するアンケート」を実施 し、ひとり親家庭の状況と課題を把握 ●新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受 け、より困難が生じているひとり親家庭に対す る支援として、児童扶養手当受給者等を対象と した子育て世帯生活支援特別給付金を支給 (ひとり親世帯分:6,096世帯) | 3,841,703 | 3,594,056 | 3 | P46 |
| 24 | 20104060 | 女性保護事業 | その他 | 日常生活に様々な困難を抱える女性 の相談・支援を行うとともに、DV被害 者等への支援に取り組みます。 | ●女性相談員による相談・保護・自立支援を 実施(相談件数2,487件) ●DV被害者等への相談・支援を実施(相談件 数595件) ●DV被害者等の緊急一時保護を実施 ●様々な媒体を通じた相談窓口の周知 | 52,848 | 51,870 | 3 | P48 |
| 25 | 20104070 | 子ども・若者支援推進 事業 | その他 | 子ども・若者が自立して社会生活を営 むことができるよう取り組むとともに、 地域社会全体で子ども・若者を見守り 支える取組を推進します。 | ●「かわさきサポートブック」を作成 ●「川崎市子ども・若者の未来応援プラン」の点 検・評価及び進捗状況を把握するとともに、次 期計画の「第2期川崎市子ども・若者の未来 応援プラン」を策定 ●大学生等のボランティアを活用した不登校・ ひきこもりへの支援を実施(個別支援活動参加 者:110人、集団支援活動参加者:38人※目標 82人) ●児童家庭支援センターでの相談・支援を実施 (相談件数:3,679件) | 112,601 | 118,795 | 3 | P50 |
| 26 | 20104080 | 小児ぜん息患者医療 費支給事業 | 補助・助 成金 | 小児ぜん息患者に対し、医療費の一 部を支給することにより、児童福祉の 増進を図ります。 | ●対象者に対し、医療費の一部を支給(支給対 象者数:3,566人) | 122,720 | 103,432 | 3 | P52 |
| 27 | 20104090 | 小児慢性特定疾病医 療等給付事業 | その他 | 小児慢性特定疾病で治療を受けて いる児童及び保護者に対し、必要な医 療等を安定的かつ継続的に支給する ことで、負担軽減を図り、子どもが安 心して育つ仕組みづくりを推進しま す。 | ●対象者に対し、安定的かつ継続的な医療費 等を給付(給付対象者数:1,517人) ●対象者に対する電話等による相談事業や自 立支援に資する研修を実施 | 436,877 | 467,261 | 3 | P54 |
| 28 | 20104100 | 母子父子寡婦福祉資 金貸付事業 | 補助・助 成金 | 児童の学費や就労のための資格取 得に伴う費用などの資金貸付を行うこ とにより、ひとり親家庭等の経済的自 立の助成と生活意欲の向上を図りま す。 | ●各区窓口で修学資金等の申請を受け付ける など、対象者に対する貸付事業を実施 ●貸付金の滞納整理及び長期未納の防止に 向け、夜間電話督促や夜間休日訪問催告を 実施(現年度分償還率:86.89%※目標88.80%) | 239,113 | 266,274 | 3 | P56 |
| 29 | 20104110 | 災害遺児等援護事業 | 補助・助 成金 | 災害により、父または母等が死亡ま たは重度の障害を有することとなった 児童を扶養している保護者に対し、福 祉手当を支給することにより、災害遺 児の福祉の増進を図ります。 | ●福祉手当を適正に支給 ●小・中学校の入学卒業祝金品の贈呈を適正 に執行 | 4,992 | 4,795 | 3 | P58 |
| 30 | 50201040 | 子どもの権利施策推 進事業 | その他 | 子どもが自分らしく育ち、学び、生活 していくため、子どもの権利が尊重され 保障されるよう、子どもの権利の理解 を広める取組や子どもを権利侵害か ら守る取組を推進します。 | ●第6次行動計画の進捗状況の集約及び公表 ●条例の解説パンフレット等の作成、「かわさ き子どもページ」へのイベント情報の掲載等 を活用し、様々な世代に向けた広報及び意識普及 を実施(広報資料配布部数:187,863部) ●新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、 オンライン形式を併用して子どもに関わる職員 等を対象とした研修等に講師として派遣(研修 等参加者:1,201人) | 8,687 | 8,361 | 3 | P60 |

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

| 番号 | 事務事業コード | 事務事業名 | サービス分類 | 事務事業の概要 (簡潔に記載) | 主な取組の実績 | 事業費 (千円) | | 事業の達成度 | 参考資料掲載頁 | |
|----|----------|----------------|-------------------|---|--|-------------|-------------|--------|---------|--|
| | | | | | | 予算額 | 決算額 (見込) | | | |
| 1 | 10101070 | 本庁舎等建替事業 | その他 | 本庁舎等について災害対策活動の中核拠点としての耐震性能を確保するため、建替への取組を進めます。 | ●新本庁舎超高層棟新築工事の推進 ●新本庁舎後元棟新築工事の着工 ●第2庁舎解体設計の推進 (当初計画の令和元年度新本庁舎新築工事着手に至らなかったため、全体事業計画に遅れが生じ、完成見込みは当初計画と同じ年度ではあるものの、令和4年度末となっております。) | 6,263,976 | 6,040,238 | 4 | P●● | ①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載 |
| 2 | 40205010 | 地域情報化推進事業 | その他 | 市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。 | ●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数:目標2,400か所のところ実績1,785か所) ●かわさきアプリの運用(アプリダウンロード数:359,707回) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数:337団体) ●更新するオープンデータの公開(公開データセット数:319件) ●川崎市LINE公式アカウントやAIチャットボットを活用した情報発信 ●簡易版電子申請サービスを活用した行政手続のオンライン化の推進 | 19,815 | 18,311 | 4 | P●● | ②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他 |
| 3 | 40205020 | 行政情報化推進事業 | その他 | 「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。 | ●川崎市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進プランの策定 ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の事前登録作業の実施(支援件数:66,034件) ●1,000台のテレワーク専用端末を活用したモバイルワーク・在宅勤務の本格運用開始 ●ICT活用・ワークスタイル検討部会における新本庁舎での機器や回線など環境整備の検討及び全庁への提示 | 164,429 | 143,440 | 3 | P●● | ③事務事業の概要を記載 |
| 4 | 40205030 | 電子申請推進事業 | その他 | パソコンなどを利用してインターネット上から24時間申請することが可能な電子申請システムの安全で安定的な運用を行い、利便性の高い電子行政サービスを提供します。 | ●電子申請システムの安定的な運用及び利用者の利便性向上に向けた機能改善の実施(電子申請システムの利用件数:目標172,000件、実績437,158件) ●次期電子申請システムの導入に向けた検討 ●IDC(インターネットデータセンター)の適切な運用 | 326,002 | 323,989 | 2 | P●● | ④令和3年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載 |
| 5 | 40901010 | シティプロモーション推進事業 | その他 | 本市の多様な魅力をさまざまなメディアやブランドメッセージを効果的に活用し、市内外や海外に情報発信するとともに、民間活動を活かした地域資源の発掘や新たな魅力づくり、連携等により、川崎の魅力をより高め、市民のシビックプライドを醸成します。 | 「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標は前年度を上回るも、「愛着」は目標6.5に対し結果5.5、「誇り」は目標5.5に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ●Twitterや動画等を活用した情報発信 ●新型コロナウイルス関連情報発信(動画特設ページ、子どもたちへのメッセージ等) ●ブランドメッセージポスターの制作及び市内全域への展開 ●都市ブランド推進事業の実施支援 | 32,505 | 23,514 | 4 | P●● | ⑤令和3年度の予算額及び決算額(見込)を記載 |
| 6 | 40901020 | 国際交流推進事業 | イベント等 | 海外からの視察受入や国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。 | ●瀋陽市との姉妹都市提携40周年を記念した市長親書の交換、両市の高校生によるオンライン青少年交流等を実施 ●ウーロンゴン市に対し、川崎ジュニア文化賞受賞者等によるビデオメッセージを制作し、送付するなどの交流を実施 | 37,229 | 23,532 | 3 | P●● | ⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った |
| 7 | 50101060 | 地方分権改革推進事業 | その他 | 自主的・自立的な行政運営に向けた取組を推進するため、国に対して事務・権限の見直し等に関する提案を行います。また、県・市間の事務・権限の見直し等に関する協議を行います。 | ●他の指定都市等と共同で提案を行うなど、地方自治体が協調した取組の推進 ●新たな地方分権改革の推進に関する方針の改訂 ●国等に指定都市市長会や九都県市と連携し要望活動を実施 | 724 | 737 | 3 | P●● | ⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載 |
| 8 | 50102010 | 広聴等事務 | 公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 | 車座集会での市長と市民との直接対話のほか、手紙、FAX、メールなどの身近な手段により、市政に対する声を広く収集します。また、市政に対する市民の意識を調査するため、市民アンケートを実施します。 | ●車座集会の実施(実績:年2回/目標:年8回) ●市長への手紙による市民の声の収集(実績:年4,059件/目標:1,200件) ●市民アンケートの実施(実績:年2回/目標:年2回) ●広聴等業務に係るスキルアップ研修の実施(効果を感じた受講者の割合 実績:86%/目標:80%) | 8,309 | 10,868 | 4 | P●● | |